

トランスレーショナルリサーチ推進部門

Translational Research

情報科学分野

Chemo-Bioinformatics

特命准教授 梅寄 雅人 Masahito Umezaki
技術職員 池原 達郎 Tatsuro Ikehara

◆ 原 著

- 1) Ono S, Nakai T, Kuroda H, Miyatake R, Horino Y, Abe H, Umezaki M, Oyama H. Site-selective chemical modification of chymotrypsin using peptidyl derivatives bearing optically active diphenyl 1-amino-2-phenylethylphosphonate: Stereochemical effect of the diphenyl phosphonate moiety. *Biopolymers*. 2015 Nov 30. DOI:10.1002/bip.22790. [Epub ahead of print]
- 2) Shigyo M, Kuboyama T, Sawai Y, Tada-Umezaki M, Tohda C. Extracellular vimentin interacts with insulin-like growth factor 1 receptor to promote axonal growth. *Sci Rep*. 2015 Jul 14; 5: 12055.
- 3) 鈴木 哲, 梅寄雅人, 沢井裕佑, 錦織広昌, 小野 慎. 光合成初期過程への超分子化学からのアプローチ PDB 構造データに準拠した光合成系における励起遷移過程の計算手法の提案. *光合成研究*. 2015 Dec ; 25(3) : 182-6.

◆ 学会報告

- 1) 梅寄雅人, 沢井裕佑, 佐久間勉. PPARの活性調節に対するリン酸化の影響. 日本薬学会第135年会 ; 2015 Mar 25-28 ; 神戸.
- 2) 鈴木 哲, 梅寄雅人, 沢井裕佑, 錦織広昌, 小野 慎. 光合成初期過程への超分子化学からのアプローチ 紅色光合成細菌におけるB800-850周辺アンテナ系の光励起遷移の考察. 日本化学会第95春季年会 ; 2015 Mar 26-29 ; 千葉.
- 3) 鈴木 哲, 梅寄雅人, 沢井裕佑, 錦織広昌, 小野 慎. 光合成初期過程への超分子化学からのアプローチ シアノバクテリアの光化学IIコアアンテナ系における光励起遷移の考察. 第23回「光合成セミナー2015：反応中心と色素系の多様性」 ; 2015 Jul 11-12 ; 京都.
- 4) 梅寄雅人, 鈴木 哲, 沢井裕佑, 錦織広昌, 小野 慎. 光合成アンテナ系LH2のB850における励起遷移に関する解析. 第23回「光合成セミナー2015：反応中心と色素系の多様性」 ; 2015 Jul 11-12 ; 京都.
- 5) 梅寄雅人, 山西芳裕. 和漢薬・生薬由来化合物のターゲットタンパク質探索データベースの構築. 第32回和漢医薬学会大会 ; 2015 Aug 21-23 ; 富山.
- 6) Shigyo M, Kuboyama T, Sawai Y, Tada-Umezaki M, Tohda C. Extracellular vimentin interacts with insulin-like growth factor 1 receptor to promote axonal growth. 第58回日本神経化学会大会 ; 2015 Sep 11-13 ; さいたま.
- 7) 田林功至, 春木孝之, 佐藤雅弘, 紺野勝弘, 梅寄雅人, 数馬恒平. 溶媒中試薬LC-MSデータの成分差分解析. 平成27年度電気関係学会北陸支部連合大会 ; 2015 Sep 12-13 ; 金沢.

◆ その他

- 1) 立川仁典, 山西芳裕, 梅寄雅人, 門脇 真. 和漢薬のターゲットタンパク質のインシリコ探索. 富山大学和漢医薬学総合研究所平成26年度共同研究報告セミナー ; 2015 Mar 3 ; 富山.